

2026年3月6日

三菱UFJ信託銀行株式会社

「働きたいオフィス・働きたい街ランキング 2026」の調査結果について

三菱UFJ信託銀行株式会社（取締役社長 窪田博、以下 三菱UFJ信託銀行）は、一都三県（東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県）に居住している約2千人を対象にWEBアンケート（以下「本調査」）を実施し、「働きたいオフィス・働きたい街ランキング 2026」の結果を公表いたしました。

1. 背景と目的

三菱UFJ信託銀行は信託銀行で唯一のテナントリーシング専門の部署を設置し、オフィス等の賃貸仲介や移転サポートを実施しています。

昨今のオフィス移転は人材確保やエンゲージメント向上、人的資本経営の観点から、より働き手の求めるオフィスに沿って立地改善、スペック改善などを目的に実施される傾向にあります。これを受け、昨年の調査に続いて働き手の意向をダイレクトに探り、その求める傾向を明らかにすることを目的に実施いたしました。

本年は、企業のDX人材確保への関心が益々高まっていることから、調査対象者にDX人材を加え、DX人材の求めるオフィス・働き方・街を調査し、一般オフィスワーカーとの比較を行っております。

2. 調査概要

	オフィスワーカー	DX人材	就活生
調査対象者	一都三県（東京・神奈川・埼玉・千葉）在住の20-59歳。 会社・団体の経営者、会社員（正社員） 業務全体に占めるデスクワークの割合が4割以上 ※テレワーク（在宅勤務）の頻度が「ほぼ毎日」の方は対象から除外	経済産業省が定義する「DX推進スキル標準」人材タイプのいずれかに該当すると回答 「ビジネスアーキテクト/デザイナー/データサイエンティスト/ソフトウェアエンジニア/サイバーセキュリティ」	「就職活動が終わり、内定を得ている」または「現在就職活動をしている」と回答した、 一都三県（東京・神奈川・埼玉・千葉）在住の学生
回収回答数	1,300 サンプル （男性 650、女性 650） 性別年齢均等割付	500 サンプル	200 サンプル （男性 100、女性 100）
調査期間	2025年12月15日（月）～12月24日（水）		
調査方法	インターネット アンケート調査 調査機関：株式会社アスマーク		

3. サマリー

(1) 働き方調査 : 働き方の自由度をめぐる「理想と現実」の可視化

- ・世代・職種を横断して共通する「柔軟性志向」の広がり。
- ・入社頻度では実態と理想のズレが数値で可視化されている。
- ・オフィスに来る理由は「議論・関係構築のため」と「自宅で代替しにくい作業のため」に二分される。

(2) 働きたいオフィス : オフィスに求められる価値 — 立地と快適性

- ・オフィスのハード面は、「駅直結」や駅近への希望が昨年度以上に高まった。
- ・ソフト面は、一般オフィスワーカーでは快適性を追求した基本インフラ、個人の作業スペースが求められ、DX人材では一般オフィスワーカーの理想に加えて、気分転換をするためのリフレッシュ環境や、対話・共創を支えるコミュニケーションスペースが求められている。
- ・また、就活生は交流機会やビルのブランド力（知名度）に関心があり、オフィス環境が採用力に影響する可能性が示唆される。

(3) 働きたい街ランキング : 「丸の内・大手町」に集約される働く街のブランド力

- ・丸の内・大手町・日本橋が上位となり、選択理由も「交通利便性」と「雰囲気」のセットで語られやすく、“通いやすさ”と“働く象徴性”を同時に満たすエリアが強いという構図が鮮明である。
- ・一方で新宿・横浜のように「交通利便性+周辺施設」「通勤しやすさ」が相対的に効くエリアもあり、“都心ブランド型”と“生活動線最適型”の二つの勝ち筋が併存している。

4. 詳細

調査結果の詳細は以下の URL をご参照ください。

<https://www.tr.mufig.jp/new_assets/houjin/fudousan/pdf/antenna-office_city_ranking-2026.pdf>

以 上